

飯箸ゼミとサイエンスハウス



の公然の秘密について

明治大学

情報コミュニケーション
学部

飯箸ゼミ 2年 吉田卓磨

自己紹介



氏名 吉田卓磨

経歴

茨城県古河市出身

茨城県立境高等学校

河合塾大宮校での浪人生活を経て、明治大学
に入学

サークル

バスケットボール、軽音サークル所属

趣味

バスケットボール、絵を描くこと、音楽鑑賞

(株)サイエンスハウスとは？



- 飯箸先生を代表取締役として科学技術関連ソフトウェアの開発・販売、科学技術書の販売をしている株式会社。
- 創業1981年3月
- 資本金3,500万円
- 飯箸ゼミから中村、西山、吉田の3名がバイトとして会社の手伝いをしている
- 面白いと思ったのは、気軽に安価な「ITスポットサービス」を提供していることである。
 - ・見慣れないメッセージが画面に現れた。どうしたらよいかわからない。
 - ・社内のネットワークが使えなくなった。
 - ・買ってきたソフトのセットアップができない。
 - ・プリンタに印刷できなくなった。などの場合、電話かメールでスタッフがかけつける。
- システム関連の本来の業務は、
技術計算/統計計算/画像処理 / 企業情報ネットワークシステム / データベースシステム / WEB-DBシステム / ネット通販システム の受託制作などである。

サイエンスハウス訪問

飯箸ゼミとサイエンスハウスが結びついた理由は、ゼミの先生がこの会社の社長だったからです。

2007年10月に田端の駅前に集まり、飯箸先生と共にサイエンスハウスを訪問した。サイエンスハウスでは社員の方の名刺をもらい、自己紹介やゼミでの活動の報告をした。

・ゼミ生の挨拶内容

起こせムーブメント社を立ち上げる挨拶と、以後の協力をお願いした。

・サイエンスハウスのスタッフの皆さんのお言葉

今回お会いする目的は、ゼミ生との顔合わせや気式会社をやる上でのゼミ生の意識の確認。これは、ゼミの授業だから仕方なくやるというのでは会社としても協力する価値がないため。会社がゼミに協力することで会社側に利益が生まれなければ会社とゼミの間でギブアンドテイクの関係が成立しない。

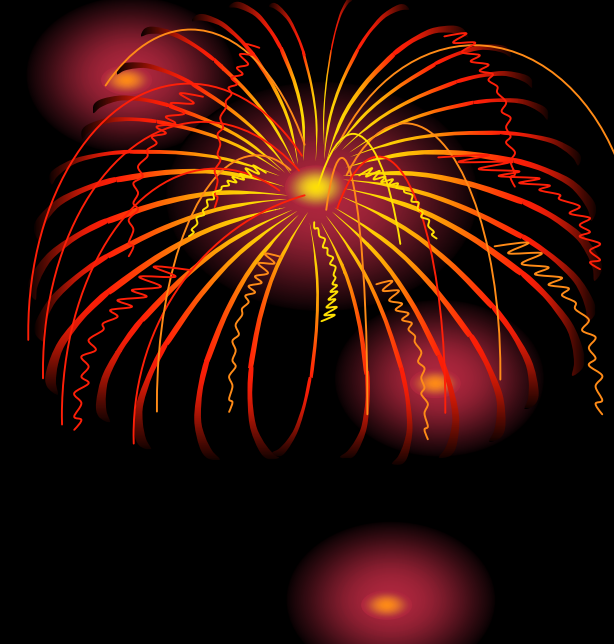
サイエンスハウス訪問の目的

- ・飯箸先生のゼミということで、サイエンスハウスに無料でゼミに協力してもらえる。
- ・学生ではできないプログラミングやサーバーの管理をやってもらえる。



お祭りサイトを始め、アンケート作成など、学生のアイデアを実現することができる。

お祭りサイト



お祭りの紹介をしたり、関連する商品の販売など、お祭りを通して世界中の人々と交流しようというサイト。

・ゼミ生

お祭りサイトに自分たちの知っているお祭りについて書き込みや、写真をアップする。

・サイエンスハウス

お祭りの書き込み1件につき400円を支払う。

サイエンスハウスでのバイト



サイエンスハウスではゼミ生をバイトとして招いている。

・ゼミ生

- ・サイエンスハウスでhtml、css、javascriptなどの技術を学び、理解して社員の作業を手伝う。
- ・学生としてアイデアを提供する。
- ・大掃除の主力(!)

・サイエンスハウス

ゼミ生が技術を学ぶためのアドバイスをし、ゼミ生に対価を支払う。

バイトからの収穫



- ・バイトではパソコンを使い、技能研修を重ね、サイエンスハウスで学んだことをゼミで生かす。
- ・ゼミの会社運営に必要な知識を得られる。
- ・サイエンスハウスでの経験をほかのゼミ生に伝え、ゼミ全体としてステップアップすることができる。

アンケート

起こせムーブメント社の財政体力向上を目指し、アンケート代行業をするという案が挙がった。まずはじめにとるアンケートとして、話し合いの結果、より良い学食を求めてと題して、明治大学泉校舎の学食についてのアンケートを取り、学食のメニューの改善を目指すことになった。

・サイエンスハウス

アンケートツールの紹介。また、先輩でありサイエンスハウスアルバイトの鈴木先輩にゼミの授業に参加していただき、参考サイトの紹介や今後の活動についてのアドバイスを受けた。

研究発表会



- ・サイエンスハウスの忘年会もかねたSH情報文化研究会の研究発表会にゼミ生も参加した。
- ・研究発表会には大学の教授や社長、デザイナーなどさまざまな人が参加してビジネスについてのとてもよい話を聞いた。
- ・放送・映像のソフトウェア開発や広告制作会社の方から名刺をもらうことができ貴重な体験をすることができた。

ゼミとしての収穫



- ゼミ生のITスキルの向上に役立った。
- お祭りサイトに困難なく接近できた。
- 曲がりなりにもアンケートサイトが利用できるようになった。
- 気式会社の資金源になることも実感した。

反省と感想

このゼミを通してイノベーションのジレンマや、社長の条件を読んで感想をブログにアップしたり、自分たちで会社運営についての意見を出し合いながら成長していくことができた。また、サイエンスハウスでのアルバイトでhtml,css,javascriptなどの技術を学べたり、マニュアル作成などの普通のバイトでは経験できないことを経験することで今後の就職活動での強みも得ることができ、有意義な時間を過ごすことができた。ゼミの授業ではあまり発言ができなかったり、まだまだ時間が足りず遣り残したことも多いが、このゼミで得たものを生かしていけるよう努力していきたい。



ご静聴ありがとうございました。

終わり